



Aidanfield Christian School

入学案内



信心 • 清廉 • 優秀 • 信託精神



エイダンフィールドクリスチャンスクールでは、
さまざまな背景を持つ大勢の生徒たちが、
違いを受け入れ信仰を共有しています。

本校は一貫教育校であり、平等かつ自由な校風を誇ります。

私たちは共に生活の中で学び、
個性を伸ばし、神の下で成長していきます。

過去を受け入れ、神が定めた目標を探索し、
心身共に成長していきます。

それがエイダンフィールドクリスチャンスクールです。





校長からの挨拶



保護者各位

新年度に向け、お子様の教育のためにエイダンフィールドクリスチャンスクールをご検討いただき、誠にありがとうございます。

本校は、神の絶対的真理が世界とすべてのものを形成し、その探求と理解の道しるべが聖書であるという世界観を持つ学校を探しているご家族に高く評価されています。ニュージーランド全国共通教育課程に準拠したカリキュラムを導入しています。聖書の教えを色濃く受け継いだ指導を通じて、全生徒が優れた成果を収められるよう、ご家族と連携しながら、生徒一人ひとりを理解することに尽力しています。

「心身共に成長し、自立心と自信を養う」という校訓は、生徒が自分の属す社会の中で自立心と自信を持って生きていくことを願うものです。私たちは、事実と数値を学び、職業訓練を積むことだけが教育だとは思いません。絶対的真理を説く神の言葉は、人生のあらゆる領域に関わり合い、子供たちの精神、学業、肉体、そして社会的、情緒的な成長に対する私たちの対応にも影響を及ぼします。そのため、生徒が知識や技術を身に付けながら、将来に役立つ英知と身体を養うことを目指しています。

本校は世界各国からの生徒を受け入れ、互いの相違点や長所を尊重し、学び合うことを楽しむ学習環境を形成しています。

初等科から中等科へ無理なく移行できる学習計画を設定し、将来を見据えながら、各学年で着実に実力を伸ばしていけます。また、地域社会や各家庭とのつながりを大切にする地方の学校ならではの良さがあると考えています。本校の優れた10学年のカリキュラム卒業後は、ミドルトングランジスクール高等科（11～13学年）でNCEA全国統一資格の取得を目指し、さらなる成長の機会が得られます。

お子様の教育のために本校が提供する教育機会をぜひご検討ください。そして、ご質問やご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。皆様からのご連絡をお待ちしております。

在
主
マーク・リチャードソン校長

エイデンフィールドドクリスチャン スクールの校章

盾を構成するそれぞれの図柄に重要な意味があり、本校の在り方と生徒への願いが込められています。聖書は本校の基盤であり、履修カリキュラムや私たちを取り巻く世界の認識がそこから生まれます。真正なる神の教えから木が生えています。

木は、本校を通じてそれぞれの生き方を見出す青少年の成長の物語を表し、その成長は止まることはありません。神の教えに深く根差した生活を送ることによって英知と身体が成長し、滋養を十分に与えられた木は力強く成長します。

十字架は、イエスキリストの犠牲と復活を象徴するものであり、神の前で悔い改め、許しを請い、神の思し召しを受けた善男善女となることを意味します。

四つの星は南十字星であると共に、本校の本質的な価値観である「信心、信託精神、清廉、優秀」を表しています。

プケコは、クライストチャーチ市内の学校所在地を象徴するものです。本校はオパワホ（ヒースコート川）の源流付近にあり、境界線沿いに水路が流れ、敷地内にプケコが生息しています。学校の境界2カ所が保護区となっているため、クライストチャーチ近郊にありながら、田舎の雰囲気を残しています。

丘はポート・ヒルの近くにあることを意味していますが、人生と学習には忍耐が必要であることも示唆しています。何でも簡単には手に入るわけではありません。

この全てをまとめた私たちの目指すところは、本校の一員（生徒ならびに教職員）としての生活の中で、心身を成長させ、神の教えに習熟し、自立心と自信を養うことなのです。



本校について

本校は、お子さんの学校経験の基盤として、聖書の教えと世界観を強く持つ学校を探しているご家族のための学校です。

第0学年から第10学年までの生徒さんを受け入れており、ご家族が希望される場合、卒業後にミドルトングランジスクールへの進学も可能です。クライストチャーチの南西部に位置しており、さまざまな国の生徒さんを受け入れています。





本校の特徴



本校の特徴は国家との合意で定められており、以下のとおりです。

- 本校は特定の宗派にとらわれておらず、多種多様なキリスト教会からのご家族を受け入れています。本校と同様の宗教心を持つ教会やご家族が条件となります。
- 聖書の世界観に基づき、ニュージーランドの教育課程を自主的に教えています。
- 敬虔なキリスト教徒を教職員として雇用しています。
- 教育とは最終的には保護者の責任であると考えており、保護者と連携しながら取り組んでいます。そのため保護者のご協力が必要です。
- 家庭と学校の相互関係の重要性を認識しており、相互の結束を積極的に奨励、促進、支援しています。教会の重要性も強化しています。
- 生徒と保護者、教職員が神聖な関係を経験できる環境を提供できるように努めています。
- 聖霊と神の教えを信頼しています。
- 真理は聖霊によって啓示され、知識は聖書の真理で評価されると認識しています。

設立時の使命

本校創立時の使命は、聖書的世界観に基づき、各生徒が神から与えられた運命を全うできる、質の高い教育を提供することでした。今日でもこれを重視しています。

達成目標

本校の教育へのアプローチは包括的であり、生徒の精神的、知的、感情的、社会的、身体的なニーズに応えるように努めています。



本校の教職員は、次のような生徒を育てることを目標としています。

- ・優れたキリスト教教育を受容する。
- ・他の人のニーズに対して思いやりがある。
- ・誠実で正義感にあふれ、公正な生活を送ることを固く決心している。
- ・人生は神の手に導かれていることを知り、自信を持つ。
- ・聖書的世界観を養う。
- ・イエスキリストへの信仰を深め共有することに心から情熱を持っている。
- ・神に受け入れられていることに自信を持ち、神に与えられた才能を伸ばす強い意志がある。

本校のビジョンの要約は以下のとおりです。

聖書的世界観に基づく質の高い教育を提供し、キリスト教コミュニティに貢献する。

- ・ 聖書的
- ・ 相関的
- ・ 変革的

本校の価値観

本校が重視する基本的価値観

優秀	信託精神
信心	清廉

何事にもこれらがはっきりと表れています。



体制

指導体制

エイダンフィールドクリスチャンスクールは、国立総合制中等学校（初等部と中等部）です。1学年から10学年（5歳から15歳）までの学校です。

国立の一貫教育校ですが、所有権はニュージーランド政府にはなく、**校主**にあります。校主とは学校の特徴を維持するための信託団体（Christian Schools Trust：CST）であり、学校の敷地や建造物を所有し、その開発を任されています。CSTは、ミドルトングラングスクール、ロールストンクリスチャンスクール、アシュバートンクリスチャンスクール、コーナーストーンアーリーラーニングセンターも所有しています。校主が請求する在籍料の支払いは義務付けられており、保護者は毎年払わなければなりません。それは（学校の理事会ではなく）校主が受け取り、敷地や建造物の開発のためのみに使用されます。

国立の一貫教育校であるため、保護者の中から選出された代表者、校主と教職員の代表、校長から構成される**理事会**が結成されます。理事会は国家から学校運営を任せられ、方針を設定するほか、適切な信託精神に則って学校の資源を活用し、教育方針を確実に実現します。

本校は独自の特徴を備えた教育機関であり、コミュニティーという概念を重視しています。**保護者会**は、家族同士のコミュニティーを築くことが主な活動目的で、時間と労力を惜しまない保護者によって構成されており、強力な関係構築に努めています。また、地域社会にも輪を広げ、学校のための募金活動などを行っています。

本校の入口

その意味

入口のドア：戸口の十字架を通過して中に入りますが、それは、私たちが家族であり学校であることを明示した入り口なのです。全てが神の教えの真理により評価されます。十字架を通じて神を知り、神を愛することにより、私たちはイエスキリストに呼び出され、道、真理、人生を学びます。



サイドパネル：ガラス製のサイドパネルには、この地域に生えている植物のティ・コウカ（ニオイシュロラン）とハラケケ（亜麻）が描かれています。タニコ（織物）型の三角形は南アルプスを表しており、地理的な境界線を意味しています。私たちの行い全てに、十字架の光が発せられています。



責任の対象

国立一貫教育校として国家への説明責任があり、教育評価局（Education Review Office：ERO）の定期監査によって、教育水準の高さと効果的な学校経営の在り方が評価されます。教育評価局は本校に於ける教育の質に関するフィードバックを保護者に提供し、その情報はwww.ero.govt.nzに公開されます。

管理職、教職員、理事会は、本校の特徴を強化し、維持していくことに関して、校主に対する説明責任を負います。

教職員および管理職は、生徒の学業達成、理事会が設定する目標の実現に関して、理事会および保護者に対する説明責任を負います。

また、留学生の生活保障に関する服務規程（Code of Practice for the Pastoral Care of International Students）の加盟校として、留学生に対する高水準の生活保障に関しても説明責任を担います。

コファイファイモチーフ（らせん状の織物）は4つの風を表しています。本校のACSハウス制度は4つの風を意味し、神が四方八方から人々を本校へ連れてきてくださったと認識しています。

フロントパネル：ワハロア（主通路）は本校を訪れる方を歓迎するように設計されています。上部のコーナーにあるらせんはナハウエファ（4つの風）を表し、あらゆる所から来る全ての人が出会う場所を象徴しており、これはまさに本校に他なりません！ドア横の垂直のらせんは敷地内にまかれた種を表しています。

先端：本校の校章が上部に掲げられ、本校の基盤、すなわち神の教え、十字架の力、地理的な位置、学習へのチャレンジ、そして、心身共に成長する生徒を育て自立心と自信を養うという本校の使命を表現しています。





カリキュラム

学力の基礎を築く

学校教育の開始

小学校入学までに子供たちはすでに様々な学習体験を積んでいます。入学後は、それらの体験を生かして各人に適した学びをスタートさせます。低学年の間に各カリキュラム領域の理解と聖書の概念を固めておくことによって、将来的な学業の基盤を築けます。

新入生～第2学年

学校教育の始まりにあたり、刺激的な環境の中で、子供たちに将来役に立つ日課や学習習慣を導入していきます。教師は各生徒を温かく迎え入れ、技能の育成、読み書きと算数をしっかりと始めます。少人数クラスは大きなメリットがあり、異なる学習スタイルを取り入れながら探究や学習に時間をかけ、生徒一人ひとりが最適なスタートを切ることができます。

第3～4学年

学校生活や日課の中で、自信をつけていく重要な時期です。子供たちは教室内で自立心を大いに向上させていきます。これらの学年では、全カリキュラムにおける基本的な理解を非常に重視しています。

学内での成長

第5～6学年

この学年に達すると様々な基礎概念ができあがり、社会的、身体的な能力がさらに要求される学習活動を取り入れられるようになります。

あらゆるカリキュラム領域において、子供たちの人格や長所が明確になってくるため、アイデンティティーや個々の卓越性、宗教心について深く掘り下げていく時期です。

また、学業において、より主体性が求められるようにもなります。幅広い教科や課外活動において生徒一人ひとりの長所を認識し、優れた成果を上げた生徒を定期的に表彰します。生徒の創造性を試し、問題解決の方法が一つではないことを考えさせ、あらゆる面で高い目標を掲げるように指導します。さらに、校内外の奉仕活動への積極的な参加を促し、イエスキリストがいかに重要な存在であるかを考えていきます。これらの学年では、ご家族とともに家庭においても学習することを奨励し、あらゆる学習機会を活用して生徒の長所や天賦の才を伸ばしていくことを支援します。また、本校は課外活動（バレエ、サッカー、ベーキング、宗教活動、文化活動など）を宿題の一環と見なし、従来の記入形式の宿題に多くの時間を費やすよりも、ご家族が子供たちと一緒にそれぞれの興味を見出す機会を設けています。



全学年を通して

テ・レオ（マオリ語）

本校ではニュージーランドの二つの文化に関する理解を深めることに取り組んでいます。特別科目としてテ・レオを全学年で教えています。聖書のレンズを通して、マオリ文化の豊かさと美しさを見て、理解して、良さがわかるように、生徒に奨励しています。

エクステンションとチャレンジ

Extension／Fostering Strengthsプログラムでは、全校生徒にカリキュラム以外のものに挑戦し、興味や才能がある分野を伸ばすことを勧めています。例として以下のようなものが挙げられます。

- Cantamath（数学の大会）
- Junior Mathematics Challenge（オタゴ大学）
- Kiwi Competition（カンタベリー大学）
- ICAS（オーストラリア）
- 学習重視のオンラインサイトによる、各分野に特化したプログラム

制服

本校では、保護者がコミュニティーにふさわしく、見栄えの良い良心的な価格の制服を採用し、その着用が義務付けられています。本校入学にあたり、お子様の在学中は制服に関するすべての要求事項を守ることに同意していただきます。

制服は、見栄えが良く、生徒の個性をある程度尊重し、良心的な価格で入手できるデザインにしました。

制服に関する詳細は、www.aidanfield.school.nzをご覧ください。どうか、事務室までお問い合わせください。





カリキュラム

思春期と学校教育

中等部—第7～10学年

これらの学年には、インターメディエイトスクールとジュニアハイスクールがあります。中等部には中等部なりの特徴があります。学習計画はこの年代特有のニーズに合わせ、勉学への興味を失いがちな年頃の生徒を助け、勉強に集中させるように作成されています。中等部の4年間をかけて、主体的な学習能力と専門性を高めていきます。こうした指導を通じて、生徒が率先して学習に集中するようにし、高校進学後に学業で成果を収める方法を身に付けさせます。

本校ではクライストチャーチ市内の高校のカリキュラムに含まれるアート、テクノロジー、言語など幅広い「ローテーション科目」も選択できます。ニュージーランドのカリキュラムでは、9年生と10年生でこれらの科目を選択することになっています。

高校教師の資格を持つ専任教師が作成した学習計画により、クライストチャーチ市内のどの高校の11学年へ進学しても万全な学習準備を整えます。本校の学習計画は、高等部高学年で優れた成果を収められるように配慮したものです。ミドルトングランジスクールとは密接な関係があり、本校卒業後は同校第11学年へ進学することも可能です。

生徒一人ひとりに配慮した生活指導を重視しているため、各人の成長や進捗状況に応じた対応を行えます。また、リーダーシップ育成の機会も多く、大規模校であれば高学年のみに与えられるリーダーシップの役割を10年生以外の生徒にも幅広く与えています。

主要科目

英語、数学、科学、社会、基礎学力養成、体育、保健、テ・レオ、言語、スポーツという主要科目を通じて堅固な学習基盤を築きます。批判的思考、問題解決、実体験を重視しています。中等部では、論理的思考や評価が必要になり、より一層の努力が求められるようになります。学習においては、生徒の能力にチャレンジすることが重要な役割を担います。

9年生と10年生が高校で選択できる科目は限られています。選択科目としてテクノロジー、アート、言語が義務付けられています。本校ではカリキュラムの中でさまざまな選択科目を提供しています。



選択科目とモジュール

主要科目のほかに、各種の選択科目があります。ビジュアルアート、ダンス、演劇、音楽、マオリ、様々な外国語、ビジネス・エンタープライズ、キャリア、EOTC（教室外学習）、テクノロジーといった科目をヒルモートンスクール（7～8学年）またはミドルトングランジスクール（9～10学年）のいずれかで受講します。聖書の教えに基づき、また、神を愛し、自分自身を愛するように他人を愛するという召命に動機付けられ、基礎学力養成、生活技能のほか、コミュニティへの奉仕精神を通じて、社会的責任、良き市民としての在り方、倫理的行動を学びます。聖書による他人を愛することは他人に奉仕することにつながり、これらの活動を通して体験します。

奉仕活動プロジェクトは、本校と地域社会を結びつけるものであり、両者の連携を促進します。本校では国内だけでなく海外にも目を向けています。





学習進路

高等部（第11～13学年）

本校の10年生は、卒業後、キリスト教系教育機関ネットワーク内の提携校に進学できます。この進学オプションは、生徒の成長、精神的なチャレンジ、人間的成長、教育上の発展に画期的なチャンスをもたらします。

10学年を修了した生徒とその保護者には、以下の進学オプションがあります。

1. ミドルトングランジスクールへの「優先入学」（MGSへの進学時にミドルトングランジスクールにより明示）が確定した場合、同校高等部へ進学できます。本校の学習計画を通じて進学準備を整えた生徒は、精神的な成長を遂げ、高等部の第11学年へ進むことができます
2. 地元の国立高校への進学を希望する場合、生徒は引き続き家庭と保護者に守られながら、一般社会を経験することになります。これらのご家族に対しては、生徒が、クライストチャーチ市内の学校のキリスト教系コースワーカーと連絡できるようにします。

本校カリキュラムの特徴：

- 聖書の教えに従う。
- ニュージーランド全国共通教育課程の枠組みに準拠する。
- 何事にも全力を尽くすことを奨励する。
- 変わりゆく世界について学び、探究し続けるよう、生徒に奨励する。
- 社会の中で立派に役立ち、他者を思いやれる人材の育成に努める。
- 生徒一人ひとりが天賦の才と将来の方向性を見出す手助けをする。





様々なニーズに 応える

生徒一人ひとりに配慮した指導が優れた効果を上げています。生徒は、学校コミュニティの一員であることを強く自覚しながら、総合的なケアを受けられます。

本校のEnglish for Speakers of Other Languages (ESOL)プログラムは、海外から来た文化背景の異なる生徒を支援します。留学生に対しては、必要に応じて、個人授業や少人数グループでの指導のほか、教室内での学習支援も行います。学習に必要な英語力養成に力を入れる一方、第1言語の能力も引き続き進歩するよう奨励します。

Fostering Strengthsプログラムは、特別な才能を示す生徒（第1～10学年）に目を向け、様々な方法でその能力、長所を伸ばします。

Learning Support（学習支援）：担当教師は、様々な分野で問題を抱える生徒の学習支援を行います。クラス担任と担任助手が協力して学習介入を行い、進捗状況をモニターします。

ガイダンスカウンセラー、パストラルサポートチーム、担任助手も、教職員と緊密に連携しながら生徒を見守っています。





ACSでの留学



本校は世界各国からの生徒を受け入れ、互いの相違点や長所を尊重し、学び合うことを楽しむ学習環境を形成しています。長期あるいは短期の留学を受け付けています。

長期留学

1年またはそれ以上の留学を体験してみませんか。

本校ホームページwww.aidanfield.school.nzに必要情報が掲載されています。「International」ボタンをクリックしてください。学校紹介と長期留学費用の詳細をご覧ください。

夏期留学—短期

1週間またはそれ以上の短期留学を体験してみませんか。

本校ホームページwww.aidanfield.school.nzの「International」ボタンをクリックしてください。本校は留学生の生活保障に関する服務規程 (Education (Pastoral Care of International Students) Code of Practice 2020) の加盟校です。





本校の 歴史とビジョン

本校は今日ではエイダンフィールドクリスチャンスクールとして知られていますが、市内の小さな2校が合併してできたカンタベリークリスチャンカレッジ（CCC）としてスタートしました。エイヴォンクリスチャンカレッジは生徒がいましたが、市内に常設の校舎も校庭もありませんでした。キングズクリスチャンカレッジはクライストチャーチ南西部に、1930年代に建てられた老朽化した煉瓦造りの建造物がある広大な一区画の土地を購入することができました。幸運なことに、エイダンフィールドの分譲地開発が公表される前に購入したのでした。農地が分譲地となり、今では本校の周りは郊外の住宅地となっています。キングズカレッジの生徒は少人数でしたが、校舎は大きく、その時点で、2校が合併するのは誰にとっても合理的でした。その結果、キングズカレッジとエイヴォンカレッジが廃校となり、1996年に2校が合併してカンタベリークリスチャンカレッジ（CCC）と命名されました。キングズクリスチャンスクールトラスト（KCST）が新しい学校の校主および土地建物の所有者となり、1999年には国立の学校となりました。つまり、本校の運営費用は政府が支払いますが、依然校主が土地建物の所有者であり、キリスト教の学校としての特徴を守る責任を負っています。





CCC（現在のACS）が設立された当初はキリスト教的価値観に強く傾倒していました。政府との統合に関する合意は設立当時の神父たちの心を捉え、主な目的は以下のとおりでした。

「生徒たちが健全な人間に成長していける教育現場を提供することです。本校の教育に対するアプローチは包括的であり、全生徒の精神的、知的、感情的、社会的、身体的なニーズに応えるように努めています。本校の使命は、聖書的世界観に基づき、各生徒が神から与えられた運命を全うできる、質の高い教育を提供することです」

エイダンフィールドクリスチャンスクール設立時の指導者たちは、希望する生徒全員にキリスト教教育を誠実に提供することに強い責任感を持っていました。私立学校だった設立当初の課題は、清廉と信心の理想と、資産の管理に対する責任を両立させ、さらに学業および社会的に優秀な結果を出すことでした。これは難しい問題でした。

私立学校から国立学校になるまでの年月、校主理事会（KCST）は学校の資産を国立学校並みにする必要性がありましたが、資金が限られていたため、達成不可能でした。卓越した資産管理という課題は大きな困難となりました。統合を通じて学校運営の資金を支払うことに同意した国によるさらなる期待や監査により、それまでの小さな私立学校だった体制や収容力を考え直す必要が出てきました。理事会と学校の指導者たちは学校の改善は自分たちの手に負えない仕事だと気づき、2006年、生徒数が減り、教育省の懸念も高まる中、校主理事会は近隣のクリスチャンスクールに援助を求めました。

クリスチャンスクールトラスト（CSTはミドルトングランジスクール、アシュバートンクリスチャンスクール、後にロールストーンクリスチャンスクール、コーナーストーンアーリーラーニングセンターを所有）がKCSTと共に学校の教育と建築ストックの質向上にかかわることになり、学校の改善の道のりが始まりました。そして、新しい人材が校主、理事会、教職員に加わりました。

2009年、大きな変革と発展中の新しいコミュニティがより良い場所であることを示すため、CCCはエイダンフィールドクリスチャンスクールと改名され、コミュニティ発展のための新しい息吹を吹き込みました。新しい名称は本校の位置とその周りの伸びゆくコミュニティを反映しています。



ニュージーランド全国共通教育課程のビジョンは、若者たちが自信を持ち、お互いに連携し、積極的に参加し、そして、生涯学習することです。2007年に地域社会で行われた調査の中で、クライストチャーチ南西部特有の家族が本校理事会に回答した、学校に対して望むことは以下のとおりでした。

- ・ キリスト教のしっかりした価値観と特徴
- ・ 各子どもが持つ固有の資質、能力、才能を考慮し、一人の人間として、成長を促す
- ・ 特有の高等教育への進学を提供
- ・ 質の高いカリキュラム、学業成績の向上、十分な教育を受けた教師による質の高い授業
- ・ 資金が十分にある学校での最高級の設備
- ・ 我が子がコミュニティーの一員であることを強く感じられる場所
- ・ より広いコミュニティーにおける高い評価と肯定的なイメージ
- ・ 効果的かつ透明性の高い運営／リーダーシップ
- ・ 住宅の増加が予測される場所の近隣

10年以上が経過した今、現在の本校はコミュニティーが望んでいたものを完全に満たしていると言って良いでしょう。建物は目的にかない感じも良く、学業水準は依然高くやりがいがあるものです。生徒への生活サポートはしっかりしており、学習と成長は実を結んでいます。そしてキリスト教は本校の心臓部です。

エイダンフィールドクリスチャンスクールによろこそ。



心身を成長させ、
自立心と自信を養う



Aidanfield Christian School

所在地：2 Nash Road, Aidanfield, Christchurch, New Zealand
電話：+64 (03) 338 8153
電子メール：international@aidanfield.school.nz
www.aidanfield.school.nz

信心 ・ 清廉 ・ 優秀 ・ 信託精神